

## 2. 2018年度ワークショップ

### (1) ワークショップ一覧

位置づけ	講座名 テーマ	到達目標	開催日	開催場所
◎	立命館を知る!	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018年度の教育活動の見通しをつけるために、教学スケジュールとFDプログラムスケジュールを把握する。</li> <li>立命館ならびに高等教育の教育課題をふまえた授業運営を考える。</li> <li>教育支援システム「manaba+R」の活用方法を確認する。</li> </ul>	2018年4月 KIC:2日(月) OIC:3日(火) BKC:4日(水)	
-	オリエンテーション	-		
◎	立命館のFD	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本および世界の大学改革とFDの進展を説明できる(知識・理解)。</li> <li>立命館大学の教学におけるFDの位置付けと特徴を説明できる(知識・理解)。</li> <li>これからの教学実践において、FDを実践する意欲を持つ(関心・意欲・態度)。</li> </ul>	2018年 5月19日 (土)	朱雀
◎	青年期の心理を踏まえたコーチング	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期特有の心理について理解する。</li> <li>青年期の心理に適ったコーチングテクニックを身につける。</li> <li>発達障害を持った学生への接し方について理解する。</li> </ul>	2018年 7月14日 (土)	朱雀
◎	学生とのコミュニケーションに求められるスキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴き手の姿勢や態度が話し手の話す意欲に影響することに気づく。</li> <li>話し手の話す意欲を高める技術を身につける。</li> <li>自分の気持ちも相手の気持ちも大切にしたい指示、指導ができる。</li> </ul>		
●	大学における授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学における教授法の体系的な知識と技能を修得する。</li> <li>アクティブラーニングの活用方法を習得する。</li> </ul>	2018年 9月12日 (水)	朱雀
●	授業設計と模擬授業の実施(マイクロティーチング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業プランをデザインできる。</li> <li>授業プランに基づいた授業を実施できる(模擬授業)。</li> <li>模擬授業を評価する。</li> </ul>	11月24日 (土)	
●	授業の到達目標の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切な到達目標を設定することができる。</li> <li>高等教育に求められる内部質保証を設定することができる。</li> </ul>	2018年 9月13日 (木)	朱雀
●	成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の到達目標に沿って適切な評価方法(評価手段)を選択し、その評価指標と評価方法を設定できる(思考・判断・評価)。</li> <li>自らの授業の成績評価に関して、学習者にフィードバックを心がける(関心・意欲・態度)。</li> </ul>		
◎	コース・ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つの科目(コース)のシラバス教材、授業運営記録、評価アンケートの結果など、自分の教育活動の根拠となる資料を用いて、コース・ポートフォリオを作成することができる(技能)。</li> <li>授業改善のためコース・ポートフォリオを積極的に活用する(態度)。</li> </ul>		
-	発表会	第1部:個人作業とグループワーク 第2部:発表 発表内容は、自らの教育活動について、プログラム受講をふまえたリフレクションを経た、次年度の改善案(シラバスの改善案等)、中期・短期目標、自らの教育理念等とする。	2019年 1月26日 (土)	OIC

【位置づけ】 ●:必修 ◎:選択